

生活防衛だったはずが・・・



正岡 利朗
(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

冬の間に懸念されていた水不足についての心配は薄れましたが、春先から石油関連の心配事がずっと続いており、こちらも早く解消されなければ多くの企業、消費者にとって由々しき問題になりますね。今回の話題は「自宅飲むコーヒー」です。

30代までは普及品の焙煎粉を使っていた当方ですが、40代からは焙煎豆を買うようになりました。ただし、特にこだわりを持つこともなく、安価なエスプレッソマシンやサイフォンなども用いて、ブラックでテキトーに楽しんでいました。それが、50代になってからは、「スターバックス(カークランド)・ハウスブレンド」と「ザビダ・ヘーゼルナッツバニラ」という2商品のみを購入するようになりました。

これら2商品に限らず、コーヒーの価格が顕著に上がったのが2021(令和3)年の秋頃でした。以後も上がり続け、1kgで¥2,000程度だった両商品は、2026(令和8)年6月現在、¥5,000程度になっています。円安や不作など、理由はいろいろあるのですが、生活防衛のために何らかの対策を立てねばなりませんよね。そこで目を付けたのは「生豆を購入して自家焙煎すること」でした。同じ銘柄でも、生豆の価格は焙煎豆の約半分なのです。

さて、そうすると、まずは焙煎を手網やフライパンで行うか、焙煎機で行うかの選択が必要となってきます。当方は、2023(令和5)年に函館でワーケーションをした際に「Specialty Coffee COCORO」という店舗で前者を体験し、実に辛かったので、迷わず焙煎機の導入を決定しました(同時に、同店舗では焙煎や淹れ方などに多数の「お作法」があることを教えられました)。そして、比較検討の末、ソウイジャパン(株)のSY-121Nという機種を¥17,500で購入し、いよいよ自家焙煎の始まりとなりました。

同機種での一度の最大焙煎量は100g、昨今のコーヒー価格で考えると、(電気代や自分の労賃は無視して)70回の焙煎で購入費の元が取れる計算です。と言っても、最初のうちは、どの豆が、どのような焙煎が自分に合うのかまったくわからない状態ですので、比較的安い、小分けした生豆の購入から始めて、いろいろ試すことにしました。これまでに試した銘柄は、多い順にゲイシャ、ブラジル、グアテマラ、マンデリン、コロンビアですが、70回目の焙煎までは、あまり豆の特性を理解せずに、ほとんどをフルシティロースト以上で深煎り焙煎し、お作法もきちんと守らずにハンドドリップでテキトーに淹れて、その時々を楽しんでいました。まあ、それなりにおいしいので自己満足ではいたのです。

しかし、この程度繰り返すと、自分なりの「(簡易な)珈琲道」を追及する時期が来ているのではと感じました。そこで当面の目標を立てました。それは、「JR四国の観光列車「志国土佐 時代の夜明けのものがたり」で佐川駅にて提供されるコーヒーの味を再現すること」です。それが実際にコクがあり、まろやかでおいしかったという印象

からなのですが、まずはコーヒーに関する初歩的な参考書を読み込み、勉強を始めました。ちなみにそのコーヒーは、佐川町出身の水野龍氏が創業した「銀座カフェーパウリスタ」と同じ焙煎豆を使用しているとのことでした。

しかし、長年飲んでいたにもかかわらず、コーヒーのあれこれについてイチから学ぶことが多く、なかなか理解が進みません。困った末に何の気なしにChatGPTにお伺いを立てたところ、個別の質問に実心的に回答が返ってくるので、かなり理解が進み、なるほど、AIの使いどころはまさにこのあたりにあるのだと実感しました。そして、パウリスタの人気NO.1の「森のコーヒー」を再現するには「例えば、ブラジルNO.2とグアテマラSHBを1:1の割合で、フルシティロースト手前まで焙煎して、中挽きより少し粗めで挽き、90℃程度の湯温で2分程度かけて抽出してみよ」とのアドバイスに従って、(ChatGPT自身が飲んでいるわけでもあるまいしと、半信半疑で)その通りに淹れたところ、まことにおいしいコーヒーができました。

ただし、実際に森のコーヒーを取り寄せて、試飲したところ、だいぶ酸味が強く、佐川駅のあのコーヒーとは方向性が違うようです。そこで、「あのコーヒーは「パウリスタオールドコーヒー」の方に近いのでは?」と、再びChatGPTにお伺いを立てたところ、「その通りで、森のコーヒーは現代スペシャルティ寄りの設計で、パウリスタオールドコーヒーはクラシック喫茶店寄りの設計、後者を再現するには、先のアドバイスよりグアテマラを少し減らし、マンデリンを加えよ」というさらなるアドバイスでした。そこで、パウリスタにお問い合わせメールを出して、パウリスタオールドコーヒーの方があのコーヒーに近いことを確認し、この6月の東京出張の折に店舗に寄り、現物入手して、味を確認しました。

このようにして当面の目標は達成できました。そして、今後、フレーバーを付けてみたい、アームズメソッドを試してみたい、再びエスプレッソマシンを導入してアメリカノを飲んでみたいなどと考えている当方の思考は「すでに生活防衛ではないよな...」と十分自覚しています。まあ、自分にとって真においしいコーヒーを淹れる技術もだいぶ磨かれたので、よしとせねばなりません。今ではお作法もかなり守り、きちんとハンドピックで欠点豆を取り除き、使用する水にも気を遣っている次第です。

ただし、これらのお作法は、消費者が国内で生豆入手した以後にのみ有効です。それ以前の、産地での豆の生産処理、その後のコンテナ輸送の状況などについては手の届かないブラックボックスでありますね。そして、豆の取引などについてSDGsの視点を取り上げる業者は多いのですが、輸送について「品質保持に大いに気を遣っている」と謳っている業者はほとんど見当たらないのが我が国の現状です...

令和8年度通常総会を開催

本会は6月18日、高松国際ホテル（高松市）において会員組合等の代表者ら85名のご出席のもと、令和8年度通常総会を開催しました。

古川会長より開会挨拶の後、議案の審議が行われ、令和7年度事業報告書及び決算関係書類の承認や、令和8年度事業計画、収支予算などが満場一致で可決決定されたほか、任期満了による役員改選が行われ、古川会長が引き続き会長に選任されました。

提出議案は下記のとおりです。

- 第1号議案 令和7年度事業報告書並びに決算書承認の件（原案通り承認）
- 第2号議案 令和8年度事業計画（案）並びに収支予算書（案）決定の件（原案通り承認）
- 第3号議案 令和8年度会費決定の件（原案通り承認）
- 第4号議案 令和8年度借入金残高最高限度額決定の件（原案通り承認）
- 第5号議案 任期満了に伴う役員改選の件（次ページのとおりに選任）



▲挨拶をする古川会長



▲通常総会の様子

《令和8年度基本方針》

- | | |
|------------------------------|---------------------------------|
| 1. 既存の中小企業組合に対する経営環境に対応した支援 | 10. 雇用・労働関係事業の推進 |
| 2. 新規組合の設立・新連携等新たな組織化の促進 | 11. 外国人材等確保のための支援 |
| 3. 小規模企業等の経営力向上、活性化支援 | 12. 外国人技能実習制度に関する適正化支援 |
| 4. ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業の実施 | 13. 産学官連携による地域経済・産業振興・人材育成支援の推進 |
| 5. 新事業進出・ものづくり商業サービス補助事業の実施 | 14. インボイス制度の普及推進 |
| 6. 中小企業省力化投資補助事業の実施 | 15. 制度改正等によって生じる中小企業の課題解決のための支援 |
| 7. 組合青年部活動に対する支援 | 16. 中小企業の適切な価格転嫁の円滑化に関する支援 |
| 8. 中小企業の公正な競争環境実現のための支援 | 17. 関係機関との連携・協力関係の強化 |
| 9. 中小小売商業・サービス業等の活性化支援 | 18. 政策提言活動及び広報活動の強力な推進 |

香川県中小企業団体中央会役員名簿

2026年6月18日

役 職 名	氏 名	所 属 組 合 名	
会 長	古 川 康 造	香川県商店街振興組合連合会	
副 会 長	松 永 雪 夫	香川県生コンクリート工業組合	
//	大 峯 茂 樹	香川県産業振興事業協同組合	
//	三 矢 昌 洋	香川県ホテル旅館生活衛生同業組合	
//	増 田 浩	瀬戸内食品加工協同組合	新任
専務理事	桑 原 仁	専 従	新任
常任理事	川 原 陸	香川県美容業生活衛生同業組合	
//	岡 隆 夫	香川県中古自動車販売商工組合	
//	真 鍋 道 雄	香川県農機具商工業協同組合	
//	国 東 宣 之	香川県石油商業組合	
//	二 川 隆 一	香川県食肉事業協同組合連合会	
//	小 竹 和 夫	香川県建築事業協同組合	
//	白 井 正 人	香川県家具商工業協同組合	新任
//	片 岡 伸 介	香川県屋外広告美術協同組合	新任
//	三 好 浩 之	香川エルピーガススクリーン協同組合	新任
//	木 下 敬 三	香川県製粉製麺協同組合	新任
理 事	佐 々 木 正 富	建設協同組合高松総合センター	
//	右 川 俊 二	香川県信用組合	新任
//	楠 木 寿 嗣	一般社団法人香川県トラック協会	
//	神 原 満	川重坂出事業協同組合	
//	辻 村 啓 一	香川県砕石事業協同組合	
//	向 井 幸 司	香川県自動車整備商工組合	
//	岩 崎 康 誠	香川県タクシー協同組合	
//	末 包 賀 裕	香川県造園事業協同組合	
//	藤 井 武 志	香川県室内装飾事業協同組合	
//	樋 口 高 良	香川県臨海企業団地協同組合	
//	鎌 田 由 美 子	香川県食糧事業協同組合	
//	佐 藤 佳 生	香川県電気工事業工業組合	
//	棚 次 啓 二	日本手袋工業組合	
//	大 野 英 作	小豆島調理食品工業協同組合	
//	岩 佐 武 彦	協同組合日専連高松	
//	島 啓	香川県印刷工業組合	
//	吉 田 孝 一	公益社団法人香川県宅地建物取引業協会	
//	味 本 圭 祐	協同組合オリーブエコサービス	
//	若 葉 精 志	赤帽香川県軽自動車運送協同組合	
//	三 好 康 治	庵治石開発協同組合	
//	須 佐 美 裕 一	小豆島手延素麺協同組合	
//	香 川 隆 昭	本場さめきうどん協同組合	
//	丹 生 兼 宏	香川県火災共済協同組合	新任
//	白 川 忠 澄	香川県管工事業協同組合連合会	新任
//	楠 井 賀 博	香川県縫製品工業協同組合	新任
//	太 田 武 志	中央会青年部	
監 事	和 泉 一 郎	仕出し協同組合スプリング	
//	上 村 芳 久	四国鍍金工業組合	
//	近 藤 善 和	国際経済交流協同組合	

会長1名、副会長4名、専務理事1名、常任理事10名、理事26名、監事3名(順不同・敬称略)

中央会だより 2

香川県中央会創立70周年記念式典を開催

本会は通常総会終了後(6月18日)に、高松国際ホテル(高松市)において、会員組合等約160名の出席のもと、創立70周年記念式典を盛大に開催しました。

記念式典は、三矢昌洋副会長が開式の辞を述べ、国歌斉唱の後、主催者を代表して古川康造会長より、「昭和31年2月の設立以来70年にわたり、中小企業組合の設立、運営指導など組織化に全力をあげてきた。県内地場産業をはじめ、あらゆる業種・業界における中小企業の連携・組織化の活動を通じ、県下中小企業の振興と地域経済の発展並びに雇用の創出に、創立70周年を契機として、心新たに努力していきたい」と式辞を述べました。

続いて、長年にわたり中小企業振興に貢献があった優良組合や組合優良青年部、組合功労者並びに優良専従職員9組合・団体と38個人に対し、四国経済産業局長表彰、香川県知事感謝状、全国中央会会長表彰、香川県中央会会長表彰の授与が行われました。

受彰者を代表して、瀬戸内食品加工協同組合・増田浩理理事長より「受彰を契機に、さらに決意を新たに県内中小企業並びに中小企業組合の振興のため一層の努力をする」と謝辞を述べられました。

その後、四国経済産業局長・吉田健一郎様、香川県知事・池田豊人様、香川県議会議長・氏家孝志様、全国中小企業団体中央会事務局長・田上宏運様よりご来賓を代表してご祝辞を頂き、三矢昌洋副会長の閉式の辞により終了しました。

引き続き、会場を移して開催された記念祝賀会では、古川康造会長の開会挨拶の後、株式会社商工組合中央金庫高松支店長・川口邦明様の乾杯の発声のもと、終始和やかに、ご来賓、受彰者、会員との交流が図られました。最後に、公益財団法人かがわ産業支援財団理事長・寺嶋賢治様のご挨拶で盛会裡に終了しました。



▲記念式典



▲受彰式



▲吉田四国経済産業局長



▲池田香川県知事



▲祝賀会でのマグロの解体ショー



▲祝賀会

受彰おめでとうございます (敬称略)



四国経済産業局長賞

- 優良組合 香川県食肉事業協同組合連合会／瀬戸内食品加工協同組合／本場さぬきうどん協同組合
 ■組合功労者 中川 悟(香川県管工事業協同組合連合会理事)／岡 隆夫(香川県中古自動車販売商工組合理事長)



香川県知事感謝状

- 組合功労者 国東 宣之(香川県石油商業組合理事長)／末包 賀裕(香川県造園事業協同組合理事長)
 白井 正人(香川県家具商工業協同組合理事長)



全国中小企業団体中央会会長表彰

- 優良組合 四国鍍金工業組合／国際経済交流協同組合
 ■組合功労者 増田 浩(瀬戸内食品加工協同組合理事長)／川原 陞(香川県美容業生活衛生同業組合理事長)
 真鍋 道雄(香川県農機具商工業協同組合理事長)
 ■組合優良青年部 香川県造園事業協同組合青年部



香川県中小企業団体中央会会長表彰

- 優良組合 ハイウェイサービス四国協同組合／香川県パン協同組合
 ■組合優良青年部 香川県室内装飾事業協同組合青年部
 ■組合功労者

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 大峯 茂樹(本場さぬきうどん協同組合顧問) | 樋口 高良(香川県臨海企業団地協同組合理事長) |
| 元山 賢治(香川県臨海企業団地協同組合理事) | 豊田 章二(香川県臨海企業団地協同組合副理事長) |
| 中島 保子(香川県臨海企業団地協同組合監事) | 樋口 浩良(香川県臨海企業団地協同組合監事) |
| 山下 和彦(赤帽香川県軽自動車運送協同組合理事) | 和田 良則(赤帽香川県軽自動車運送協同組合理事) |
| 木下 芳文(赤帽香川県軽自動車運送協同組合理事) | 高塚 八郎(赤帽香川県軽自動車運送協同組合理事) |
| 仲井 克之(赤帽香川県軽自動車運送協同組合理事) | 安井 秀文(小豆郡建設業協同組合理事長) |
| 村角 威夫(小豆郡建設業協同組合副理事長) | 中西 明美(瀬戸内食品加工協同組合理事) |
| 山西 正数(長尾建設業協同組合副理事長) | 井元 高志(長尾建設業協同組合理事) |
| 富田 隆弘(長尾建設業協同組合監事) | 大山 章博(長尾建設業協同組合監事) |
| 笠井 修一(長尾建設業協同組合元理事) | 樋口 隆仁(香川県管工事業協同組合連合会理事) |
| 石井 隆裕(香川県管工事業協同組合連合会理事) | 丸山 倫弘(香川県管工事業協同組合連合会理事) |
| 森 嗣喜(香川県パン協同組合理事長) | 山川 幸裕(香川県パン協同組合副理事長) |
| 亀山 和央(香川県パン協同組合専務理事) | 西山 洋司(香川県食肉事業協同組合連合会理事) |

■組合専従優良職員

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 桑島 利幸(瀬戸内造船金属加工事業協同組合) | 竹垣 智美(四国遊技機商業協同組合) |
| 川北 吉徳(香川県火災共済協同組合) | 向井 勇人(四国交通共済協同組合) |

中央会だより 3

魅力ある雇用機会の確保・働き方改革の推進等に関する協力要請

6月16日、本会に対して、香川県知事、香川労働局長、香川県教育委員会教育長、四国経済産業局長の連名で、魅力ある雇用機会の確保・働き方改革の推進等に関する協力要請が行われました。

要請は、本会を始め、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県経営者協会の商工4団体に対し、地域経済の持続的発展に向けた雇用対策を推進するためのもので、主な内容は以下のとおりです。

会員組合等におかれましては、傘下事業所に次の事項をご周知いただきますようご協力をお願いいたします。

- (1) 魅力ある雇用機会の確保について
- (2) 持続的な賃上げの推進について
- (3) 働き方改革の推進について
- (4) 多様な人材の活躍促進と環境整備について
- (5) 人材の育成・活性化について



▲要請書を受け取る古川会長（左から2番目）

香川労働局から「令和8年度業務改善助成金」のご案内

厚生労働省では中小企業・小規模事業者の皆さまの最低賃金の引上げに向けた環境整備を図ることを目的とした業務改善助成金(最大600万円の助成が受けられます。)をご用意していますので、賃金引上げと設備投資等を行う際には、本助成金の活用をご検討ください。

なお、**令和8年度の申請受付は、9月1日から**となっている等、前年度とはその取扱いに変更がありますので、詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。

【業務改善助成金についてのお問合せ先】

業務改善助成金コールセンター TEL.0120-366-440

【助成金の申請についてのお問い合わせ先】

香川労働局助成金センター TEL.087-823-0505



第9回「香川県産オリーブ関連商品認証制度」商品募集中！

香川県では、県産オリーブを使用した県内事業者の商品を認証し、ブランド化とPRを行っています。今年度も認証商品の募集を行いますので、魅力あふれる商品のご応募をお待ちしております

- ◆募集期間 6月1日(月)～8月20日(木)必着
- ◆募集対象
 - 県内で栽培されたオリーブを直接的又は間接的に使用して、県内で生産又は製造された商品
 - (農林水産物、加工食品、雑貨などの非食品)
- ◆認証特典
 - ・認証された商品は認証シールを添付して告知可能
 - ・県広報媒体での紹介や各メディアへの情報提供、県産品ポータルサイト、SNSなどの広報PR
 - ・県アンテナショップでのPR販売フェアをはじめ商談会や物産展等に働きかけ販路拡大の支援を行う
- ◆応募方法
 - 「LOVEさぬきさん」の募集案内から申込書をダウンロードし、右記応募先までご提出ください。

- ◆応募先・お問合わせ
 - 一般財団法人 かがわ県産品振興機構 麻谷
 - (香川県 県産品振興課内)
 - TEL:087-832-3383
 - E-mail:kensanpin@pref.kagawa.lg.jp
 - 募集要領や応募方法など詳しくは、香川県の県産品ポータルサイト「LOVEさぬきさん」をご覧ください。

らぶさぬきさん

<https://www.kensanpin.org/>



香川県産オリーブ関連商品
認証ロゴマーク

認証を受けた商品は、容器や商品の紹介資料などに「認証ロゴマーク」を表示することができます

KAGAWA DX FAIR 2026

かがわ

DXのヒントが見つかる！

DX フェア 2026

お知らせ

i 開催概要



開催日時

2026年10月20日（火）
10:00～16:00

入場無料



会場

サンメッセ香川
大展示場・特別会議室
（高松市林町2217-1）

会場マップ



基調講演

DX事例や
支援策が分かる



講師選定中



展示ブース

【展示】60ブース（予定）

【出展料】

かがわ情報化推進協議会

会員 2万円

非会員 5万円



出展者募集中！

詳細は下記の
QRをチェック！

主催：かがわ情報化推進協議会

共催（予定）：香川マルチメディアビジネスフォーラム

後援（予定）：香川県・四国総合通信局・かがわ産業支援財団

お問い合わせ先

事務局：香川県政策部 デジタル戦略課

TEL:087-832-3138

かがわDXフェア2026

DXフェア
特設サイト



歩行者ファーストかがわ2026 参加者募集！

横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる時は、車両は横断歩道の手前で一時停止して歩行者の通行を妨げてはならないと道路交通法に定められています。しかし、2025年のJAFの調査では香川県の車両一時停止率は、46.0%で全国ワースト10位です。この現状を踏まえ、「歩行者ファーストかがわ2026」を実施し、横断歩道での歩行者優先ルールの遵守を促進します。

ぜひ、3人1組のチームで参加し、チーム全員が率先して「横断歩道は歩行者優先」を実践してください。実施期間中に無事故・無違反を達成されたチームの中から抽選で30万円分の旅行券などが当たります。

- ・募集期間 7月1日～8月31日
- ・実施期間 9月1日～12月31日
- ・参加費 1チーム／3,000円
- ・啓発グッズ マイクロファイバークロス（参加者に配布）

問い合わせ先 県くらし安全安心課 TEL.087-832-3231

香川県 歩行者ファーストかがわ

Q 検索

働くみんなに、
大きな安心。

中退共は、1959年の設立以来、120万社以上の中小企業にご利用いただいている国の退職金制度です。

中退共 退職金 共済制度

安心

確実な退職金支払
安心の資産運用

有利

掛金は全額非課税
掛金の一部を国が助成

簡単

外部積立型で管理が簡単
退職金試算額もお知らせ

(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL.03-6907-1234



詳しくは
ホームページをご覧ください。

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社／定価
1	多類婚姻譚	風良ゆう	講談社／2,090円
2	ファイア・ドーム 上・下	辻村深月	小学館／2,090円
3	GOAT Summer 2026	小学館	小学館／510円
4	青天	若林正恭	文藝春秋／1,980円
5	イン・ザ・メガチャーチ	朝井リョウ	日経BP／2,200円

香川県書店商業組合調べ

商工中金だより

お客さまのライフステージごとの経営課題に着目し、特に商工中金として事業性評価能力を向上し、積極的に強化していく3つの分野（カテゴリーS・E・T）を「差別化分野」と位置付けました。お客さまの企業価値向上とともに、商工中金自身の長期的な収益基盤拡大や適切なリスクテイクを通じた持続的成長のため、今後、積極的に対応力向上を図っていく分野です。

Startup（スタートアップ支援）

スタートアップ特有の課題を踏まえた
一気通貫のサポート

- ▶ファイナンスを中心とする適切なリスクテイク
- ▶メザンファイナンス、外部アライアンスの活用
- ▶ビジネスマッチングを通じたセールスサポートの強化

Esg（サステナブル経営支援）

“SPEED”の視点*を活用した
事業性評価やお客さま支援を推進

- ▶CO2排出量削減コンサルティング等、サービス拡充
- ▶従業員エンゲージメント向上、BCP策定支援等
- ▶中小企業組合、関係会社等との連携

*商工中金が独自に定めた、組織・職員のサステナビリティに対する取組みの基本的な視点。
SPEED・・・Sustainability, Productivity, Empathy, Ecology, Digitalの頭文字

TurnAround（事業再生支援）

専門性向上と対応力の底上げにより、
事業再生のトップブランドを構築

- ▶経営危機の未然防止と危機状態からの脱却支援
- ▶多様なキャリアを持つ専門チームによる高度な支援
- ▶人的資本の充実にに向けたサポート強化

（お客さまライフステージ）



本業支援

事業性評価を起点とした本業支援

○ビジネスマッチング ○海外展開支援 ○事業承継 ○M&A 等

金融支援

お客さま支援の基本となる金融支援

○資金繰り対策融資 ○セーフティネット機能の発揮 ○財務構築改革支援
○成長投資支援 等

なお、詳細につきましては、商工中金
高松支店までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

株式会社商工組合中央金庫
高松支店
〒760-0052 高松市瓦町 1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

地域経済の産業活動の維持・発展のために、事業の譲渡、株式の譲渡、合併などにより経済的または社会的に有用な事業や企業を承継・集約する中小企業者および事業を承継・集約される中小企業者の資金調達の円滑化を支援します。

詳しくは、支店の窓口までお問い合わせください。

○事業承継・集約・活性化支援資金の概要

ご利用 いただける方	1 中期的な事業承継を計画し、現経営者が後継者（候補者を含みます。）と共に事業承継計画を策定している方 2 安定的な経営権の確保等により、事業の承継・集約を行う方および当該事業者から事業を承継・集約される方 3 中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律（経営承継円滑化法）第12条第1項第1号の規定に基づき認定を受けた中小企業者（同項第1号イに該当する方に限ります。）の代表者、同法第12条第1項第2号の規定に基づき認定を受けた個人である中小企業者または同法第12条第1項第3号の規定に基づき認定を受けた事業を営んでいない個人の方 4 事業承継に際して経営者個人保証の免除等を取り金融機関に申し入れたことを契機に取引金融機関からの資金調達が困難になっている方であって、公庫が融資に際して経営者個人保証を免除する方 5 事業の承継・集約を契機に、新たに第二創業（経営多角化・事業転換）または新たな取組みを図る方（第二創業後または新たな取組み後、おおむね5年以内の方を含みます。）	
お使いみち	「ご利用いただける方」の1に当てはまる方が、事業承継計画を実施するために必要な設備資金および運転資金 外	
融資限度額 （いずれも別枠）	国民生活事業	7,200万円（うち運転資金4,800万円）
	中小企業事業	14億4千万円
ご返済期間 （うち据置期間）	設備資金	20年以内＜うち据置期間5年以内＞
	運転資金	10年以内＜うち据置期間5年以内＞
利率（年）	国民生活事業	基準利率、特別利率A、特別利率B
	中小企業事業	基準利率、特別利率①、特別利率②
担保	お客さまのご希望を伺いながらご相談させていただきます。	

〈支店窓口〉株式会社 日本政策金融公庫 高松支店

URL：http://www.jfc.go.jp

〒760-0023 高松市寿町 2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業（2階） Tel.0570-085-298 Fax.087-822-9274

中小企業事業（3階） Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423

農林水産事業（3階） Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

中東情勢による経営への悪影響が及んでおり、主要3指標全てが悪化した。政府による目詰まり解消に向けた取り組みへの期待はあるものの、石油関連製品の価格は高騰しており、価格転嫁に時間を要する見込みであるため、収益への一層の悪影響が懸念されている。

2026年5月

製造業	食料品 	●材料費、人件費等を販売価格に転嫁するのがなかなか厳しい状況にある。(惣菜) ●5月下旬より県産小麦「さめきの夢」の収穫が始まる。収穫期の5月は降水量も少なく推移し、品質は良いと予想するが、作付け面積が昨年度より約250ha減少し、1,000トン程度減収が見込まれる。実需者として安定した生産を要望する。(製粉製麺) ●製造・出荷とも例年通りである。原材料の値段に変化はないが、資材の値上げが継続中である。経費は上がるが商品に反映しにくい現状である。従業員の給料も上げ、交通費も値上げになり負担ばかり増加して経営が苦しくなっている。(味噌) ●日本冷凍食品協会による3月の冷凍食品生産数量は昨対99.0%となった。カテゴリー別にはフライ揚げ物類81.3%、フライ類以外の調理食品104.2%、菓子類80.8%となり、フライ揚げ物類と菓子類が2割弱と大きく前年を下回った。業態別では市販用が105.4%、業務用が88.3%という結果となった。中東情勢により、いよいよ包装資材や衛生資材など幅広く影響が出始めた。価格の高騰は当然のことながら、人手困難になりつつあるものも出てきている。今後、エネルギーコストの上昇や人件費の上昇も加わって行く中で、それらの対策として製造数量の拡大は慎重に行っていく必要がでてきている。(冷凍食品) ●中東情勢の影響により悪化している。原材料が高騰している。(パン)
	繊維工業 	●5月は紫外線が1年で最も強くなる時期である。店頭でもUVケア商品が一気に伸びる時期だが、雨の日がやや多く、厳しいものがあつた模様である。また、組合員からの声が多くなってきたのは、人件費の増加、製品ニーズの変化への対応、価格転嫁の難しさ等が問題点として洗い出されているが、特に人件費は最低賃金の上昇が大きく影響しているため、小規模企業にとっては死活問題となってきた。また、長引く中東情勢の影響は、手袋製造においては、完成品の梱包材、下げ札等の印刷物、副資材を中心に価格高騰が著しく、製品価格が決まってからの高騰によるため転嫁は出来ず、利益面では非常に厳しくなっている。(手袋)
	木材・木製品 	●中東情勢の影響により、5月から7月には更に資材価格の値上げとなる。商品への価格転嫁のタイミングも掴めないままの事業所が多いが、7月には商品の値上げを実施する予定である。小売事業者も対応に苦慮している。卸先の小売店、特に量販店は業績低迷が顕著で、物価高により家具などの耐久消費財への消費意欲の低下が主な要因である。中東情勢の悪化が長引けば家具業界はさらに業績悪化すると危惧している。県産広葉樹利活用「100%メイド・イン・讃岐プロジェクト」では、川上・川中・川下それぞれが抱える課題の解決とサプライチェーンの効率化を目指し、持続可能な事業モデルの確立と地場産業の活性化を模索し始めた。(家具) ●中東情勢の影響による石油関連の製品・資材等の不足により、建築現場の進行に支障も出始めている中で、製品価格は建材等が高騰、木材製品は今のところ横ばいであるが、生産コスト等の上昇に伴い価格を値上げざるを得ない状況である。(製材) ●価格高騰、資材不足等の影響で住宅着工戸数の減少は続き、業績は悪いまま推移している。(木材)
	印刷 	●中東情勢の影響で、資材供給が不安定になっており、メーカーからの値上げのお知らせが次々と来ている。値上率は20～30%となっており、今までの値上げ率より大幅に上がっている。今後、資材供給が出来なくなることになれば、多大な影響が出てくるほど先が見えない状況である。
	窯業・土石製品 	●受注量の減少で、従業員が職場を見限る状況が生じ始めた。技術継承がさらに難しくなっている。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品 	●年初より動いていた仕事が一旦ついてきている。昨年と比べると良くなってきていたが、中東情勢の影響からか、勢いに陰りが見えてきた。組合員全体的に来月以降は厳しい状況になってきている。(鉄鋼) ●前年度の全国的鉄筋需要は6.5%減少する中、香川県は27.2%増加となったが当組合の5月度鉄骨需要は年明け以降、変わらず低調な状況が続いている。また、価格面においても競争が厳しく今後も不透明で、この状況は続くと思われる。(建設用金属)
	輸送用機器 	●前月と同じく業況に変化はない。人員も仕事量も大きな変化はなく、低調に推移している。(造船)
	その他 	●組合員の12社による漆器販売の展示即売会を3日間計画して開催する事になっている。収益の安定につなげたい。(漆器) ●依然としてあまり良くない状況である。(綿寝具)
非製造業	小売業 	●春先に心配された水不足も解消された様で夏野菜も次々に出荷されてきた。最近になって商店街の空き店舗に飲食店の出店が目立ってきた。(青果物) ●5月のガソリン価格は補助金の効果により、先月から引き続き安定していた様である。現在はエンジンオイルの供給が不足しており整備部門を持つ組合員が困っている状況である。(石油) ●中東だけに限らず、さまざまな要因により多くの商品・部材に在庫不足(欠品・長納期)や値上げが起こっているため、価格転嫁(利益確保)をどうしていくかが課題である。在庫の確保も必要なので資金繰りもさらに注意し、必要があれば早めの運転資金確保を検討する。(電機)
	商店街 	●中東情勢は依然として見通しがきかず、混沌しており、今しばらくは石油由来製品や加工品が不足、価格高騰するとの情報から、既に商品やサービスへの価格に転嫁がされ始めており、今夏以降は更に対象が広がる模様であり、消費環境は一段と厳しさを増すと報道がある中で、商店街内での消費は5月においては悲観するものではなく、むしろ好調と云ってよいものであった。また、通行量は県立アリーナや人気ショップ効果があり、月を追うごとに増えている(前年比+15%)ものの、その増加率が飲食、土産物店等にはプラスに作用するのに対して、多くの物販店には恩恵が現れなかったが、ここにきて、徐々にではあるが、カジュアル衣料や小物雑貨等の売上にも好影響が出始めた。商店街が賑やかさを取り戻す中で、地元顧客も観光客同様に商店街の回遊を楽しみ、買い物をするといった好循環が図られ始めているようにも感じる。ただし、店舗側は人件費をはじめ、仕入れ価格、光熱費等も上昇し、利益は圧迫される状態にある。また、人手不足も深刻で物販店(特にアパレル)では、良質の販売員の雇用や定着化ができず、販売力やローテーションにも限界を感じており、店休日を増やす等で凌いでいるが、存続問題にもなりかねない状況にある。香川県がサンポート地区と商店街、百貨店を結ぶ「まちなか直行バス」は試験運行開始から4カ月が経過するが、まだまだ認知や利用が足りておらず、従来から運行している「まちなかループバス」の定着、利用度とは比べ物にならない。やはり、定着化に向けて、最低2年間ほどは運営を継続する必要があると思われる。(高松市①) ●5月初旬はゴールデンウィークを楽しむ人達が当商店街も賑わった。笑い声・話し声・呼掛けあう声で、楽しそうに賑やかに行き交う人達が増えた。あちこちのイベントに向かっているのか、それぞれの目的地は分からないが多くの人が通過し、夕方食事時には、数店の前で順番待ちのお客様が期待の笑顔で楽しそうにしていた。連休明け頃からショッピング袋を提げている人が増えているように思う。季節の新商品を求められる時期になった。(高松市②)

5月の県内景況は、前年同月と比べて売上高DI値は－10.4ポイントで前月調査の－8.3ポイントから2.1ポイントの悪化、収益DI値は－33.3ポイントで前月調査の－27.1ポイントから6.2ポイントの悪化、景況DI値は－35.4ポイントで前月調査の－22.9ポイントから12.5ポイントの悪化となった。

非製造業	商店街 	●イラン石油事情による価格高騰により、消費の減少が気に掛かる。(丸亀市①) ●あらゆる物の値上がりで、生活者は完全に自己防衛の体制にある。節約志向が強いが、外食などを楽しんでいる人も多く、「消費者のメリハリ」を感じる。各組合とも総会を行う月で、今年度は役員の改選も行われたが、どこも組合員の減少と高齢化で人材確保に厳しい情勢にある。(丸亀市②) ●当店を含め、商店街区の小売り物販の商況は、あまり変化は無いと思われる。学生や生活者以外は通らない。ゴールデンウィークの入り込み客は、TVやネット等の影響、さらには安・近・短志向の高まりによって、新名所の「父母が浜」(市外)や「天空の鳥居」を目当てに例年より増加した模様である。結果、その周辺の飲食～土産物販店は繁盛した模様である。(観音寺市)
	サービス業 	●組合員で商品テーマを作成して共同で提案型の事業推進を開始した。まだ始めたばかりだが展開が楽しみである。(情報) ●全国理美容製造者協会発表のサロンユーザー調査によると、最近1年間に美容室を利用した回数の全年代平均は4.7回となっていて、年代が上がるほど利用回数が多くなる傾向がみられた。内容としてはストレートパーマは増加傾向、ウェーブパーマは減少傾向がみられ、パーマをしている理由としては「手入れが楽」が最も多く、サロンの客単価向上に有効となっているとの発表があった。(美容)
	建設業 	●中東情勢をめぐり、資材等の目づまり、仕入単価の高騰が除々に始めている。(建築) ●建設業界は資材供給の不安定化と価格高騰という深刻な局面に直面している。とりわけ石油化学製品の基礎原料であるナフサの供給不足と価格急騰が、住宅・インフラの双方に波及している。建設業は一見するとエネルギー産業とは距離があるように見えるが、実際には石油化学製品に高度に依存している産業である。断熱材、塗料、防水材、接着剤、塩ビ管など多くの建材がナフサ由来であり、価格連動性が極めて高い。建設資材価格は2024年から2025年の上昇局面を超える異常値圏に入り、事業継続を困難にする企業が急増している。(総合建設) ●アスファルト舗装関係の価格が上昇している。現在の情勢が元に戻れば価格も元に戻すとのことである。(水道) ●原油、ナフサの不足により、資材不足が加速している。このままでは今後の案件受注ができない。(板金)
	運輸業 	●令和8年3月16日に小豆郡及び直島町を除く香川県全域において13.05%の運賃改定がなされた。令和8年4月の輸送実績は、対前年同月比で営業収入116.4%、輸送人員は104.8%となった。(タクシー) ●令和8年4月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は、1.7%増となり、対前月比では1.8%減となった。また、4月分利用車両数の前年同月比は、0.8%増となった。(トラック)

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

		売上高	収益状況	業界の景況
製造業	食料品			
	繊維工業			
	木材・木製品			
	印刷			
	窯業・土石製品			
	鉄鋼・金属製品			
	輸送用機器			
	その他			
非製造業	卸売業			
	小売業			
	商店街			
	サービス業			
	建設業			
	運輸業			
	その他			

※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧になれます。
<http://www.chuokai-kagawa.or.jp/>

DI値の推移 (対前年同月比)

